

第15回 いたばし協働・市民フォーラム

選ばれる自治体とシティプロモーション

住んでよし 訪れてよしの魅力づくり

■ プログラム ■

開会 13:00 (12:30開場)

第一部 基調講演 13:00

『板橋区の実力とこれからの地域デザイン』

も た に こ う す け
講師：藻谷浩介さん

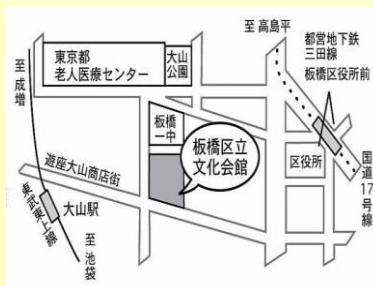
(株)日本総合研究所 主席研究員・
地域エコノミスト)



第二部 シンポジウム 14:40

シンポジスト：井崎 義治さん (千葉県流山市長)
五十嵐 泰子さん (板橋区議会議員)
関 俊介さん (板橋区政策経営部広聴広報課長)
牧瀬 稔さん ((一財)地域開発研究所 上席主任研究員)
コーディネーター：鈴木 好行 (板橋フォーラム代表)

会場案内図



東武東上線 大山駅：徒歩2分
三田線 板橋区役所前駅：徒歩5分

日時

平成28年11月20日(日)
13:00 ~ 17:00 (12:30開場)

場所

板橋区立文化会館4階大会議室
板橋区大山東町51-1 TEL.3579-2222

- 参加費 700円 (学生無料)
- 申込方法 ①郵便番号②住所③氏名④電話番号 を明記のうえ、往復はがき・FAX・Eメールのいずれかにて下記までお申込み下さい。
※定員：150名 (先着順)
- 申込・問合せ 173-0001 板橋区本町24-1 いたばし総合ボランティアセンターM4
板橋フォーラム実行委員会 11/20 フォーラム申込係 あて
TEL/fax.03(5926)5388 E-mail itabashi-forum@live.jp

- 主催 板橋フォーラム実行委員会 <http://itabashi-forum.jimdo.com/>
- 後援 板橋区 板橋区教育委員会

日本の社会は人口減少に転じ、板橋区においても 2032 年から減少に転じる推計が出ております。そんな状況にあって、近年、各自治体では生き残りをかけてシティプロモーションに取り組む動きが加速しております。そこで今回のフォーラムでは、自治体のプロモーションにスポットをあて、このあり方やプロモーションの前提となる政策経営について考えてみたいと思います。

今回 第一部では、『里山資本主義』の著者としてお馴染みであり、全国の地域・自治体の実地調査研究の第一人者、藻谷浩介さんをお招きし講演いただきます。第二部では、シティプロモーションや子育て支援自治体のトップランナーである千葉県流山市長、研究者として多くの自治体に係わるシティプロモーションの専門家、そして板橋区から担当課長、議会議員をお招きしシンポジウムを行います。

選ばれる自治体になるため、いま私たちに何が求められているのか。この機会に、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

基調講演

Kosuke Motani

講師 藻谷浩介さん (㈱日本総合研究所主席研究員・地域エコノミスト)

●プロフィール

1964年 山口県生まれ。東京大学法学部卒。日本開発銀行(現・日本政策投資銀行)、米国コロンビア大学ビジネススクール留学(経営学修士)等を経て、2012年より現職。

平成合併前3,200市町村のすべて、海外75ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。(株)日本政策投資銀行地域企画部特任顧問、NPO法人ComPus地域経営支援ネットワーク理事長。

近著に「デフレの正体」(角川Oneテーマ21)、「里山資本主義」(角川Oneテーマ21)、「金融緩和の罨」(集英社新書)、「しなやかな日本列島のつくりかた」(新潮社)、「和の国富論」(新潮社)。

シンポジウム

Symposist

井崎義治さん(千葉県流山市長)

1954年生まれ。立正大学卒、サンフランシスコ州立大学大学院人間環境研究科修士課程修了(地理学専攻)。2003年から流山市長(現在4期目)。著書に「快適都市の創造(1991年・ぎょうせい)」、「東京白書 東京に住むということ(1995年・第一書林)」、「大都市問題改善に向けた5つの挑戦(1995年・ぎょうせい)」、「ラスベガスの挑戦(1997年・朝日ソノラマ)」、「これから発展する街、衰退する街(1998年・朝日ソノラマ)」、「ニッポンが流山になる日(2010年・ぎょうせい)」。

【流山市のシティプロモーションとその取り組み】

今までの行政にはなかった新たな発想を活かしたプロモーション活動を展開し、子育て支援・教育環境分野でも先駆的なのが流山市です。つばエクスプレス開業に先立つ平成15年に企画政策課内にマーケティング室、翌年には自治体では日本初となるマーケティング課(課長、シティセールス専任職員は外部から公募)、平成20年にはシティセールス室を設置し、企業・学術機関・市民団体等とも連携して、平成23年にシティセールスプランを策定。都内の主要駅に掲げられた「母になるなら流山市」「父になるなら流山市」のポスターは大きな話題となりました。さらに「駅前送迎保育ステーション」は子育て自治体として全国から注目を集め、平成27年度の人口増加率は県内1位となっています。

牧瀬稔さん(㈱地域開発研究所 上席主任研究員)

法政大学大学院博士課程修了。博士(人間福祉)。民間シンクタンク、横須賀市都市政策研究所、(財)日本都市センター研究室を経て現職。その他、戸田市・春日部市・新宿区等の政策形成アドバイザー、シティプロモーション自治体等連絡協議会調査研究部会長、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師、NPO法人まち研究工房理事。

五十嵐泰子さん(板橋区議会議員)

1964年 山形県生まれ。共立女子大学・大学院修了。めぐみ幼稚園父母の会、常盤台小学校・上板橋第一中学校PTA、生活クラブ生協、ボーイスカウト板橋6団等の活動に参加。東京・生活者ネットワーク女性部会部長。板橋区議会議員当選(現在2期目)。

関俊介さん(板橋区政策経営部広聴広報課長)

1971年 東京都板橋区生まれ。1997年入区、くらしと観光課観光振興担当係長、いたばし魅力発信担当課長等を経て、2016年4月より現職。

参加申込用紙 (FAX用)

FAX番号 03-5926-5388

郵便番号・住所		氏名
電話	E-mail	(所属等)